修徳

題字：伊藤博文

発行所
修徳自治連合会
PR・情報委員会
修徳社会福祉協議会
発行責任者　平井常夫
編集責任者　小西宏之
印刷所　㈲章美プリント

毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただいて、広報紙作成の一助にいたしております。

みんなでつくった

まちづくり憲章が完成

学区民の共通認識の基礎

きれいな町並みを創っていこう

『まちづくり憲章（第1部）』が完成した。学区民の意志の到達点を表わしている。ぜひ、読んでいただきたい。これを基礎として、きれいな「まち」をいかに創っていくかを議論し実践してほしい。

京都は平安京以来の歴史をもち、どこにも歴史的資産といえるものがある。それを一般的な話だと捉えてはならない。『憲章』の「修徳学区の歴史」で確認したように、各学区の範囲で、特別の歴史と文化的遺跡が由緒として残る。これが、学区民の「共通認識」となり、きれいな「まち」を創っていく原動力になる。

学区民は、江戸時代から明治への町家、大正から昭和への町家を造り、さらに、平成の新しい町家を創っていくことになる。混合の美が、生活の裏づけをともなって、生き生きと町並みに表現されていく。「個々の家の美」がいかに創造的で美しくとも町並みが美しくなるとは限らない。家の中は自分のものであっても、建物の外側は学区民の心の絆を強めることのできるもので、調和した美しさでなくてはならない。住んでいる自分たちもきれいな町並みだと感じ、訪れる人たちも京都の修徳らしい町並みを感じる「まち」でありたい。

国土交通大臣表彰の賞状と楯と祝電（下京区長・下京消防署長・下京消防団長・市景観まちづくりセンター理事長）〔敬称略〕

二つのモデル地区事業に協力を

修徳自治連合会総会開かれる

平成18年度修徳自治連合会総会は平成18年5月13日（土）、午後5時より、せんだんホールで櫻田佳正副会長の司会で開始され、昨年度末の評議員会で再選された平井常夫会長の挨拶があった。

〝平成16年度に指定を受けた「修徳学区地域安心安全ネットワーク」事業と、昨年度に役員の委嘱を受けた「修徳長寿社会対策パイロット地区」と、2つの「モデル地区」事業をかかえ、昨年度に引き続き今年度も、各町内会長さんにはご苦労をかけるけれども、協力をお願いしたい。完成した『修徳学区まちづくり憲章（第1部）』を全戸配付し、「こういうまちですよ」と、知ってもらえるようにした。〝

児童の安心安全に重点　今年度

まちづくり憲章の実現に尽力

修徳自治連合会会長　平井　常夫

今年度の会長就任で5年目に入ります。この時にあたり、わたくしの想いである『「修徳らしい建物と町並み、すばらしい人間関係と、人々の心意気を残してくれた」と次世代の学区民に感謝してもらえる』基盤として、『まちづくり憲章（第1部）』が完成したことは、大きい喜びであります。そのうえ、このたび、修徳自治連合会の「継続的な魅力あるまちづくり」に、国土交通大臣表彰を受賞できたことは、まことに名誉なことと感動致しております。

『憲章』が推進するきれいな町並みは、人を思いやる心が培われ、安心安全の学区につながります。本年度は『憲章（第2部）』で、生活環境と安心安全の「学区民の意志」をまとめていきます。

◇　◇　◇

昨年度に引き続き今年度も、児童の誘拐や虐待と殺害、家族の殺害、高齢者に対する詐欺商法など、心の痛む社会の趨勢を引きずっております。

今年度は「地域安心安全ネットワーク」と「長寿社会パイロット地区」の二つの「モデル地区」事業の最終年度にあたります。マイカーに『子ども見守りたい」「車両パトロール中』』の黄色いマグネットを貼り、学区で約40台の車両の走行中に「見守り活動」をアピールします。また、「修徳すこやか学級」を中心に、介護や健康関連情報の提供と適切な運動の指導をとおして、今後の高齢者の健康と長寿、安心安全対策の基礎を固めてまいります。

◇　◇　◇

今年度も、マンションとの交流が重点項目であります。仮想マンション町内会の拡大と、各町での交流の促進を支援いたします。アンケートでは、マンション住民の皆さんが「顔の見えない絆の弱い人間関係に不安だ」という声が多かったことに応え、『憲章（第2部）』の安心安全の話し合いを、一緒に進めてまいりたいと存じます。

最後に、学区民の皆さんに、今後ともまちづくりにご協力いただきますようお願い申し上げます。

修徳の魅力あるまちづくり受賞

国土交通大臣から表彰

第24回まちづくり月間

櫻田副会長が授賞式に臨む

6月は国土交通省の「第24回まちづくり月間」にあたる。本年度も全国で41の会に、「まちづくり」に貢献したとして、6月23日に国土交通大臣表彰があった。

京都市からは、修徳自治連合会が受賞した。たまたま、平井会長が出席できない事情があって、筆頭副会長で、市の「建築のルール」策定の功労者でもある櫻田副会長が授賞式に臨席し、賞状と楯を受けた。（上段写真）

昭和の終わりの年に、洛央小学校への統合がきまり、まさに「平成の事業」として「社会教育プラザ　花と緑　福祉の学区（まち）修徳」の「まちづくりテーマ」を決め、まちづくりを開始した。「修徳ふれあい福祉会館」と、みんなでつくった「修徳公園」をそれぞれ学区民の絆の核とした。そして、平成13年4月の『修徳学区の地区計画』の方針を策定し、今回それを、『修徳学区まちづくり憲章（第1部）』に詳細に具体化した。すべて、勉強会、アンケート、ワークショップ、まち歩きなど、学区民が参加してみんなで話し合い、学区の歴史的資産を共通認識として、「学区民の想い」を集大成したものである。

「魅力あるまちづくりの推進に貢献した」という表彰理由は、こういった平成元年以来の修徳自治連合会の「継続的な取り組み」に対する受賞であることを表わしている。

昨年度の事業報告と会計報告、さらに、今年度の事業計画と予算が承認された。

質疑では、吉水俊成町町会長の宇野原貴夫さんが(1)マンションの連合会加入に尽力した奨励金（返戻金）の増額、(2)町役員の推薦依頼が団体ごとに、直接本人に依頼したり、町会長に依頼したりまちまちなのを統一できないか質問された。理事会からは、(1)奨励金の増額は各町とのバランスをみながら、加入促進に役立つ形で検討したい。(2)町役員の推薦依頼は来年度に統一した用紙の作成を考えたいと回答した。

総会議事は午後6時に無事終了し、懇親会に移った。

再選承認の監事
岡本宏一さん
入江吉信さん

新任理事
神事委員会
委員長　高橋卓也さん

理事役職の交代
消防分団
団　長　櫻田佳正さん
（前ふれあい広場実行委員長）
ふれあい広場実行委員会
実行委員長森田吉夫さん
（前消防分団分団長）

新任上部団体役員
下京消防団
副団長　森田吉夫さん

不審者の出現つづく!!

頭をたたく　腕を掴む　物を投げつける

子ども見守りたい

京都市内の「防犯情報メール」によると、5月中に届出があった分だけで、子どもたちに対する何らかの不審な接触が25件も発生しています。その内、下京区では6件発生しましたが、幸い修徳学区ではゼロでした。そのうち、声かけだけでなく、「体に触られる」「頭を叩かれる」「腕を掴まれる」「手を引っ張られる」「物を投げつけられる」「うしろから突き飛ばされる」などの危険な事件が8件発生しています。

時間帯は下校時がもっとも多く22件、不審者は、車、バイク、自転車などに乗った男が12件ということでした。

近辺では5月11日（木）午後6時45分ころから午後7時ころにかけて、松原通間之町西入る本灯籠町やその付近の路上において『女子小学生や女子高校生をねらって、バイクの男が追い越しざまに体を触り、そのまま逃走する』痴漢事件が連続発生しました。

よりいっそうの安心安全をめざして、洛央小学校・同PTA・五条警察署・防犯推進委員協議会が検討会議を行なうなど、効果的な対策を求めて活動しています。

防犯推進委員協議会
修徳支部長　松本　泰彦

見て体験して学んで感じる
漢検漢字資料館
もっと漢字が好きになるもっと学んでみたくなる　入館無料
漢字植物園、漢字水族館、漢字動物園、漢字サイコロゲーム・・・。
漢字を核に子どもから大人まで楽しく遊びながら学べる体験型の資料館です。
●場所　漢検本部2階　京都市下京区烏丸通松原下る
●開館時間　[月～金]10:00～17:00（最終入館16:30）　[土] 10:00～16:30（最終入館16:00）
●日・祝休館
日本漢字能力検定日程
平成18年度 第2回検定日　平成16年 10月29日(日)　受付締切 平成18年 9月27日(水)
平成18年度 第3回検定日　平成19年 2月 4日(日)　受付締切 平成18年12月20日(水)
200万人の漢検　財団法人 日本漢字能力検定協会
本部／京都市下京区烏丸通松原下る
TEL.075-352-8300

一緒がうれしい On Your Side
On Your Side。一緒がうれしい。みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。
五条支店
五条通西洞院角
☎(351)2951
京都中央信用金庫

更生保護女性会

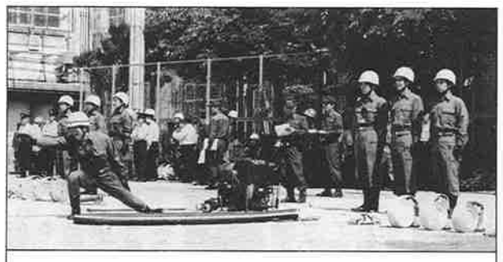
非行は社会を写す鏡

下京北地区総会　京都医療少年院を訪問する

6月16日、あいにくの雨のなか、下京北地区更生保護女性会の総会と京都医療少年院の施設訪問に参加させていただきました。時間の都合で車中での総会、そして、平等院表参道前「竹林・あさぎり店」での昼食後、目的地、宇治市の京都医療少年院へと移動しました。京都医療少年院とは、西日本における「少年院の医療センター」の性格をもつ「医療専門の施設」です。『24時間体制での医療や看護など、充実した医療体制で疾病等の治療を行ない、』『同時に、非行に関わる態度や行動上の問題の改善を図っています。』『ここは、心身ともに健康な若者を育成するための矯正教育を実施する法務省所轄の施設です。』とのことでした。『現在の入所者は、女子18名、男子49名の計69名です。』そして、『非行とは社会を写す鏡です。』と、みんなのこころに穏やかにお話くださった次長の桜井様に、院内の案内や説明をしていただきました。院内の通路の壁には、女子の細やかな作品が展示され、その横の添書には、「今はがまん」の一言。

長い人生ちょっと横道にそれてしまったけれど、今はがまんと、一生懸命がんばっている若者の姿を想いました。そして、心身ともに健康になり、一日も早く出所できますようにと願いつつ、医療少年院を後にしました。

更生保護女性会　鎌田　芳枝



下京消防団総合査閲

5月21日(日)午前7時45分、皆山中学校校庭で、各消防分団の防災力を示す下京消防団査閲が実施された。ポンプ操法で内藤栄紀さん、山岸哲也さん、脇坂一之さん、水本高史さんが活躍した。

女性会総会　何をするにもプラス思考で

健康によりよきレクリエーション

女性会総会は3月25日(土)57名が参加して開催され、中村会長のあいさつの後、平井連合会会長より、「山内一豊の妻」の話をしていただきました。

今回のテーマは『健康に、よりよきレクリエーション』で、講師は、「京都市あそびの城レクリエーション協会」会長丸尾とみ子先生です。嵯峨野生まれの嵯峨野育ちの先生は、とても活発で、ユーモアたっぷりです。

〝レクリエーションにも色々あります。読書、編み物、山登りなど、人それぞれなのです。とにかく楽しくやればよいことで、心身が健康であればこそ、毎日、生き生きとした生活が送れるのです。わたくしたちが何をするにも、体を動かし、とくに、手足の運動が必要で、また、指先をよく使います。これらはすべて、脳が元気に働いていなければなりません。〝

今回は、肩こりを治す運動、グー、チョキ、パアー、ペアで指キャッチなど、色々楽しいことを教えてくださいました。また、「うさぎ追いし」の輪唱もしました。

〝レクリエーションを生活の中に取り入れて、なんでも楽しくやると、自然に笑みがこぼれるものです。〝

〝人が話をするときに、あがってしゃべれないことがあります。あがらないようにするには、自分は左目で相手の右目を見て話すとよい〟とか、そんな器用なことができるのでしょうか。

〝わたくしたちは何をするにも、マイナス面で考えないで、すべて、プラス思考でやらなければなりません。また、人と話をするときは、相手に害を与えるような言葉は使わないことです。〝これが先生のお話のしめくくりでした。

みんな先生のお話に花が咲いたように、楽しくにこやかな表情で聞き入りました。時間のたつのがとても早かったので、再度、講演会を催してほしいと思っております。

引き続き、平成17年度の事業と会計報告がありました。18年度も盛大な拍手の結果、中村順恵様に女性会の会長になっていただきました。

また、平井久子様、山岸春子様、中村絢子様には、10年間副会長、幹事と、女性会のことでお世話になり、ほんとうにお疲れ様でした。心から「ありがとうございました」と申しあげます。最後に、中村会長より花束が贈呈されました。

女性会　中村美代子

女性会　気功体操教室

気功ウォーキングに健康感を満喫

女性会の「気功体操教室」が5月17日、50名の参加をえて行なわれ、講師の国際リラクゼーションセラピー協会会長巌美稚子先生に、「気功ウォーキング」を教えていただきました。中国伝統医療気功を取り入れたウォーキングで「まず雑念を払い、脳をリラックスさせ、背骨をまっすぐにする。大切なのは呼吸で、鼻からゆっくり外気を吸い込み、口から徐々に息を吐く。このとき邪気を体外へ出すイメージを持つ。ゆったりと動くことによって、身体の内側の機能が高まってゆく」とご指導を受けて、全員、やってみました。力を抜いてゆっくり浮かんでいるように動く、というのはかなり難しいのですが、なぜか、とても気持ちがよいのです。一切激しい運動はしていないのに、身体がホカホカしてきます。歩き方も、踵から1cm中側で着地して中指の方向に抜けていくのが、膝を痛めない歩き方だと教わりました。

椅子から立ち上がるとき、利き足を少し後へずらし、腕を下前方へ振り出すと、自然に腰が持ち上がります、これは人を介護するときにも、とても良い方法だそうです。

普段、安定剤を飲まないと寝られないとおっしゃっている方々が、皆さん講習を受けた日は、薬なしで朝までぐっすり寝られたと、驚きと同時に、たいへん喜んでおられました。

この年1回の気功体操教室は、待ちきれない方も多いと聞いています。これからも、このような女性会の活動を通じて、ますます健康で楽しい日々が過ごせたらと願っています。

女性会
会計　川島　清枝

普段寝られない人もぐっすり

子ども見守りたい旗　地域に心理的バリア

不審者から子どもを守ろうと、洛央小の保護者、住民、防犯推進委員らでつくる『子ども見守りたい』が、地域の安心安全の意識をいっそう高めるために、4月24日、通学路に面した家庭や商店、街路のガードレールや公園のフェンスなどに〝子ども見守りたい〟と書かれた旗を設置しました。

この旗には、「のぼり旗」と「吊るし旗」の2種類があって、修徳学区内では、「のぼり旗」3本は修徳公園東南角に設置し、「吊るし旗」21本は各町の防犯推進委員と住民の皆さんのお宅の表に、毎月10日から20日まで掲げていただいております。子どもの安全を守るために、〝地域全体で警戒している〟ことをアピールするのが狙いであります。

学区民の皆さんも、この旗を見られたら、ぜひ、当事者意識を高めて、地域全体に心理的なバリアをはっていただきたいと願っております。

防犯推進委員協議会
修徳支部長　松本　泰彦

◇◇◇

洛央校区全体の旗のうち、「のぼり旗」50本は、修徳自治連合会平井常夫会長と五条少年補導委員会修徳支部の平岩真治支部長から、「吊るし旗」150本は、防犯推進委員協議会永松支部田中博支部長のご紹介で京都南ライオンズクラブから、それぞれご寄付いただきました。心から感謝の意を表してご紹介いたします。

表彰　受賞者のお知らせ

おめでとうございます

3月24日
地域子供安全活動推進功労者
京都市教育長感謝状
修徳防犯推進委員会

3月24日
地域子供安全活動推進功労者
京都市教育長感謝状
松本　泰彦（大　堀）

5月30日
下京区シルバークラブ連合会会長表彰
理事功績顕著
中村　弘一（亀　屋）

単位クラブ会長
勤続7年功労表彰
中村　弘一（亀　屋）
都倉　昭蔵（御供石）

5月31日
京都市市長表彰
市民憲章推進者
松本　泰彦（大　堀）

6月10日
京都市体育振興会連合会会長表彰
京都市体育振興功労者
内藤　栄紀（材　木）

（敬称略）

京都市下京図書館

☎351－8196

開館時間	10:00～19:30（土・日・祝日～17:00）
休館日	火曜日（火曜日・祝日の場合その翌日） 第2・第4水曜日・年末年始
貸出	お一人10冊まで2週間
コンピュータ予約	市内19図書館のどこからでも本を取り寄せて借りることが可能
お楽しみ会	幼児・児童対象毎月第4土曜日 11:00～（読み聞かせ・人形劇など…）
所在地	下京区新町通万寿寺上る東側（看板あり）

下京図書館の新到着から

小宮信夫著
「犯罪に強いまちづくりの理論と実践」　イマジン出版
＝地域安全マップの正しい作り方＝

犯罪原因論の防犯対策は、犯罪の原因である犯罪者の心に注目し、刑務所で矯正して社会へ戻そうとする。しかし、どんな矯正プログラムを受けた受刑者も、全く何のプログラムも受けなかった受刑者と同じ再犯率だった。防犯上の矯正神話は崩れた。**犯罪者の心を治せなくても犯罪は防げる。**それが**犯罪機会論**だ。

第一は、**抵抗性**で、「扉に二つの鍵をかける」「防犯ブザーをもつ」など、犯罪者に、だめだとあきらめさせて、去らせる力だ。第二は、**領域性**で、場所で守る**地域で守る。犯罪者に「入りやすい」と思わせない。**学校の門を閉めておくだけでなく、受付に来るよう掲示し、さらに、受付までのルートを地面に書いておく。そこから一歩でも外れると不審な行動と判断できる。第三は、**監視性**で、**当事者意識で地域のみんなが見ている。**犯罪者は、「見えにくい」場所を選ぶ。防犯マップは、子らに、**領域性と監視性がない場所に注目して描かせるのが正しい。**

第52回　修徳ふれあいソフトボール大会開催される

第３ブロックが優勝
脇坂選手のサヨナラヒット

昨日の雨も早暁からあがり、梅雨とは思えない快晴の６月18日(日)、第52回修徳ソフトボール大会は、成徳中学校庭において、８時30分プレイボールで開催された。

第１試合は、乱打戦となり18対17の僅差で、大江(第６ブロック)が敗退する番狂わせに、各ブロックそれぞれに優勝への可能性を感じた。第２、第４試合は、坂東屋町山上投手の完封が目立った。第２試合からは、７点以上19点差までの大味の試合となった。

優勝戦は、炎天下、選手にとってたいへんな試合となり３回に第５ブロックが７点を入れ、さらに、４回に２点を追加したときは、試合は決まったと誰もが感じた。しかし、５回に２点を入れた第３ブロックが、６回４点を入れて同点とし、さらに、中野之町の脇坂選手がサヨナラヒットを打ち、逆転優勝した。

第１試合　材　木18―17大　江　**第２試合**　第１Ｂ０－７第３Ｂ
第３試合　第５Ｂ12－４第４Ｂ　**第４試合**　第３Ｂ19－０材　木
第５試合　第５Ｂ９－10第３Ｂ

ブロック構成町名

第１ブロック：月見　薮下　亀屋　布屋　富永
第２ブロック：材木
第３ブロック：坂東屋　中野之　徳万　小田原　元両替
第４ブロック：高砂　弁財天　玉津島　御供石　五鳥悪王子
第５ブロック：玉屋　大堀　吉水俊成　深草
第６ブロック：大江

800mリレーで2位の活躍
すごい走りだ！　棚部さん安藤くん

下京区大運動会

五月晴れの5月28日（日）下京区体育振興会連合会主催の下京区大運動会が、都文中学校グラウンドで開催されました。修徳体育振興会は、小学生2名を含む総勢22名が参加し、一丸となって8種目を走りました。玉入れ、クリーン作戦、クロケット作戦、クロッケーリレー、アベック競走、一発逆転ボール送り、レインボーリレーなど、楽しい種目がありました。男子400mリレーと混合800mリレーは、ともに決勝に残り、400mリレーは3位に800mリレーは惜しくも2位となりました。とくに、混合800mリレーの小学生、棚部美春ちゃん（月見）と、安藤進太郎くん（大江）のがんばりが目立ちました。総合結果は、修徳は6位となり、来年のがんばりを約束しあってわかれました。

（体振　OH）

下京区民ソフトボール大会
修徳対安寧戦に惜敗

6月4日（日）殿田球場で下京区民ソフトボール大会が開催された。修徳から15名が参加し、安寧学区と対戦し、11－10で惜敗した。

（上）献血問診表のパソコンチェック
（下）市民検診で足指の力を測定する

献血友の会
血液不足に応えて

5月16日（火）に、命を救う大切な血液の不足が伝えられるなか、修徳せんだんホールで午前10時から「献血友の会」が開催され、47名の学区民の皆さんのご協力がありました。このところ、ありがたいことに、コンスタントに50名前後のご協力をいただいております。

市民検診
市民検診を受けていたらということがないように

5月23日（火）には、市民検診に86名の修徳学区民や近隣学区の皆さんが、午後1時30分から続々と、修徳せんだんホールにつめかけられました。従来の基本健康診査やガンやウイルス検査のほか、65歳以上の方を対象に、興味深い検査項目が新しく追加されました。それは、血液検査項目として「血液アルブミン値」で栄養状態をチェックし、「足指力計測」では、親指と第2指のはさむ力を計って、下肢機能をチェックしてくれていました。

保健協議会
会長　森　修司

「修徳すこやか学級」は、学区の70歳以上の高齢者が対象になる。寝たきりや認知症で介護が必要にならないように、地域で高齢者の皆さんを支えていこうという活動である。

介護しなくてすむよう認知症にならないよう
「修徳すこやか学級」の開催

友だちとの交流が認知症を予防する

2月21日(火)午前10時から、修徳せんだんホールで第3回目の「すこやか学級」を開催した。

まず、70歳以上の皆さんに、こうしてたびたび集まってもらうと、ふれあい、友だちになってもらえる。レクリエーションや会話をとおして脳の活性化が図られる。友だちとの交流の盛んな人と、孤独な人とでは、認知症になる率が8倍も違うそうである。

また、「すこやか学級」で健康情報を提供するのは、生活習慣病の予防に役立つからである。簡単な運動やスポーツをすすめるのは、足腰を中心とする筋力とバランス能力の衰えを防いで、転倒防止に役立つからである。寝たきりになる主な原因は、転倒による骨折で、寝たきりになると急速に老化がすすむ。

包括支援センターを活用してほしい

さらに、本来の活動である福祉のまちづくりには、福祉や医療に関する専門機関との連携も欠かせない。この日も施設修徳から講師を迎えた。今年4月から「予防給付」の考え方が導入され、要介護1のランクの軽度の人たちが、要支援に振り分けられ、デイサービスとかヘルパーの回数が制限される。老人保険法では、40歳以上の対象者に、健康相談や予防トレーニングを実施できるようになった。

最後に、今年度も「修徳すこやか教室」には、高齢者の方々の積極的な参加をお願いしたい。

社会福祉協議会
会長　川成　茂照

◇　◇　◇

要支援その他詳しいことは、修徳ふれあい福祉会館1階施設「修徳」内『地域包括支援センター』へご相談ください。☎351－2153

健脚健啖の天橋立旅行
舞鶴湾の活写に平和満喫
修和会

これはもう奇跡。6月16日といえば梅雨のど真ん中。前日15日は一日中降って宵からは大雨。それが夜半にはサッとやみ、起きた時には日が燦燦。修和会の旅行に「雨なし神話」は崩れませんでした。

お天気に感謝しながら29名は八条口を出発。雨あがりの新緑を一路天橋立へ。

にぎり、甘エビ、メロンと食べ放題の昼食にお元気さを確認。文殊堂に参拝して遅まきながら智恵をいただく。船と散歩に分かれて私は歩く組に。松林のオゾンに海の風。ところが途中にこんな看板が。「通勤通学、歩行者の皆様へ」何月何日午前6時～午後1時、ラジコンヘリにより薬剤散布のお知らせ。冬はともかくこんな環境のいい処を通勤通学！。これは一種の贅沢ですね。磯清水へ着くと、ここにも「松くい虫薬剤散布につき飲用禁止」。地元の苦労とジレンマがわかります。

ついで五老ヶ岳へ。駐車場から先も年寄りには少々きつい上り坂。しかし、300メートルの展望からは眼下に切絵のように舞鶴湾がくっきり。南は丹後半島へ重畳たる山山がどこまでも。昔なら写真はおろか、登ることさえ出来なかっただろうこの眺望にシャッターは平和を満喫。

最終地あじさい園。〝5万本のあじさい〟との触れ込みでしたがこれが三分咲きぐらいでしょうか。しかし、自然の地の利を生かした見どころは満開のときのすばらしさを、十分に想像できました。それにしても花に合わせた旅程のむずかしさ、某タレントじゃないがザンネン！。帰途はとれとれセンターで最後のお買い物。夏至に近い太陽に日焼けした人。気持ちいい汗をかいた人。お土産を買うのに生甲斐の人。どなたもお元気でご無事に帰宅の途に。みなさん、お疲れさまでした。

修和会中部
部長　都倉　昭蔵

今年は気候の不順でどこも「あじさい」は満開とはいかなかったようだ。修和会のみなさんの元気なこと、舞鶴元軍港で、戦時中には写真をとるなど考えられなかった。平和を満喫しているということでしょう。

社会福祉法人 京都福祉サービス協会
高齢者福祉施設 修徳
京都市下京区新町通松原下る富永町110-1
◆特別養護老人ホーム ☎351-2181
◆ショートステイ ☎351-2181
◆デイサービスセンター ☎351-2191
◆在宅介護支援センター ☎351-2152
◆地域包括支援センター ☎351-2153
◆児童館 ☎353-6399